

「世界の諸地域」・「日本の諸地域」 学習ワークシート

～地理的分野の新しい授業づくり～



◆はじめに

本資料は、新学習指導要領への移行措置期間ならびに新教育課程開始後の指導にて、ご活用いただける資料です。平成 22 年度の入学生より、地理的分野の標準授業時数は、第 1・2 学年（平成 22・23 年度）での合計が 120 時間となり現行より 15 時間分増加します。さらに、地理的分野では学習指導要領内容の改訂幅が大きく、また、新たな学習内容が導入されております。そのため、現行版の教科書を踏まえつつも、新学習指導要領内容を見通した指導が必要であると考えられます。そうした指導の補助教材として、本資料を以下の通り構成しました。

●『世界の諸地域』編（2～50 ページ）

指導用 ○○州の指導にあたって

…新学習指導要領に示された「州ごとに様々な面から大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させる」ことを目的として、各州における主題の例を設定し、それにしがった「ワークシートの単元構成」と「指導上の留意点」を例示しました。

学習用 学習ワークシート

…各州の基礎的・基本的な知識となる地誌を記述し、それに基づいた作業を設問として配置してあります。作業の実施にあたっては、教科書をはじめ地図帳や資料集、インターネットなどさまざまな資料を参照させながら、また、一人ひとりの生徒の作業だけではなく、班別に生徒どうし協力しながら作業させるなど、適宜ご配慮いただければ幸いです。

●『日本の諸地域』編（51～103 ページ）

指導用 ○○地方の指導にあたって

…新学習指導要領に示された「日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方（以下、『中核テーマ』）を基にして、地域的特色をとらえさせる。」ことを目的として、それにしがった「ワークシートの単元構成」と「指導上の留意点」を例示しました。

学習用 学習ワークシート

…各地方の基礎的・基本的な知識となる地誌を記述し、それに基づいた作業を設問として配置してあります。作業の実施にあたっては、教科書をはじめ地図帳や資料集、インターネットなどさまざまな資料を参照させながら、また、一人ひとりの生徒の作業だけではなく、班別に生徒どうし協力しながら作業させるなど、適宜ご配慮いただければ幸いです。

◆もくじ 本資料の内容と配列

●『世界の諸地域』編

| | |
|--------------------|-------------------|
| 新しい「世界の諸地域」学習のあり方 | 2 |
| 世界の諸地域の「主題」の設定について | 4 |
| ① アジア | アジア州の指導にあたって 5 |
| | 学習ワークシート 6 |
| ② アフリカ | アフリカ州の指導にあたって 13 |
| | 学習ワークシート 14 |
| ③ ヨーロッパ | ヨーロッパ州の指導にあたって 18 |
| | 学習ワークシート 19 |
| ④ 北アメリカ | 北アメリカ州の指導にあたって 25 |
| | 学習ワークシート 26 |
| ⑤ 南アメリカ | 南アメリカ州の指導にあたって 32 |
| | 学習ワークシート 33 |
| ⑥ オセアニア | オセアニア州の指導にあたって 37 |
| | 学習ワークシート 38 |
| 学習ワークシートの解答例 | 42 |

●『日本の諸地域』編

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 新しい「日本の諸地域」学習のあり方 | 52 |
| 日本の諸地域の「中核テーマ」の設定について | 54 |
| ① 九州地方 | 九州地方の指導にあたって 55 |
| | 学習ワークシート 56 |
| ② 中国・四国地方 | 中国・四国地方の指導にあたって 61 |
| | 学習ワークシート 62 |
| ③ 近畿地方 | 近畿地方の指導にあたって 67 |
| | 学習ワークシート 68 |
| ④ 中部地方 | 中部地方の指導にあたって 73 |
| | 学習ワークシート 74 |
| ⑤ 関東地方 | 関東地方の指導にあたって 79 |
| | 学習ワークシート 80 |
| ⑥ 東北地方 | 東北地方の指導にあたって 85 |
| | 学習ワークシート 86 |
| ⑦ 北海道地方 | 北海道地方の指導にあたって 91 |
| | 学習ワークシート 92 |
| 学習ワークシートの解答例 | 97 |
| 白地図（世界全図） | 104 |
| 白地図（日本全図） | 105 |

新しい「世界の諸地域」学習のあり方

竹内裕一（千葉大学教育学部教授）

1 地理的見方・考え方、学び方から地誌学習へ

新学習指導要領が公にされ、地理的分野はまたもや大きな転換を迫られることになった。

中学校地理的分野のカリキュラム構成原理は、一貫して地誌学習であった。それが、現行学習指導要領では、地理的見方・考え方、学び方の習得を中心とした地理カリキュラム（以下、「見方・考え方」）へと大転換したのである。しかし、この「見方・考え方」の地理学習はすこぶる評判が悪かった。長らく地誌学習に慣れ親しんだ現場教師にとって、「見方・考え方」を教える地理学習は授業づくりの根幹にかかわる大転換であり、容易に対応できなかった。さらに、「見方・考え方」学習は、いわゆる「ゆとり教育」の典型とされ、「低学力批判」の矢面に立たされることになった。

そこで、新学習指導要領では、「見方・考え方」の地理学習を再び地誌学習に戻した。地誌学習の復活である。しかし、復活した地誌学習は従来の地誌学習ではなく、動的な地誌学習を旨としている。新学習指導要領への移行期に入り、動的な地誌学習の理念をどのように理解し、実践に移していくのか。現場教師の力量が再度問われるところとなった。

2 新学習指導要領の学力観と動的な地誌学習

新学習指導要領が目ざす動的な地誌学習とはどのようなものか。実践に際しては、その理念を十分に理解しておかなければ、先の「見方・考え方」の二の舞を演じることになりかねない。

新学習指導要領の学力観は、「基礎的・基本的な知識・技能を徹底して身に付けさせ、自ら学び自ら考える力などの『確かな学力』を育成し、『生

きる力』をはぐくむ」という現行学習指導要領の基本的な考え方は今後も維持することが適切である」（中教審『審議経過報告』2006）という記述にあるように、現行学習指導要領の掲げる学力観の延長上に位置付いていることをまず確認しておかなければならないだろう。

これを受けて、社会科では「知識基盤社会化やグローバル化が進む時代である今こそ、世界や日本に関する基礎的教養を培い、国際社会に主体的に生き、公的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成する」ことが必要であり、「そのためには、基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得に努めるとともに、思考力・判断力・表現力等を確実に はぐくむため言語活動の充実を図り、社会参画に関する学習を重視することが必要である」としている。ここに示されている社会科学習のあり方を地理学習に引き寄せて考えてみると、知識基盤社会やグローバル化社会では世界や日本に関する学習は欠かせない。日々刻々と変動する現代社会においては、さまざまな情報媒体を通じて世界や日本の出来事が配信される。現代社会に生きる子どもたちには、社会を読み解くために必要な基礎的な知識を獲得するだけでなく、情報を効率よく収集し、問題の本質を見極める確に判断する能力が求められている。地理学習においてその役割を担うのが地誌学習である。とりわけ、現行学習指導要領で軽んじられていた世界の学習の見直しは必須であり、「(1) 世界の様々な地域」が世界地誌学習として復活したのもここに位置付く。

それでは、どのような地誌学習を構想すべきなのか。少なくとも、地域に関する知識を羅列し、それらをただ積み上げていくだけの従来の静態的

な地誌学習（静態的地誌学習）では現代社会を解読できないことは明白である。新たな視点からの地誌学習。それが動態的地誌学習であった。

3 動態的地誌学習とは何か

動態的地誌学習とはどんな地誌学習なのか。新学習指導要領の作成に携わった吉開潔は、動態地誌とは「“対象とする地域の諸事象のうち最も重要なものに着目して、それを中核として記述を進めていく”という考え方の地誌」であり、「静態地誌と違って地誌としての入り口は焦点化されているものの、他の事象との因果関係の追究から当該地域の地域的特色を総合的にとらえる」地誌学習であると説明している（『高等学校地理における地誌学習の方向性』『中等教育資料』NO.873, 2009）。

地誌学習のねらいは、地域的特色（地域性）を明らかにすることにある。動態的地誌学習では、地域を構成する要素を網羅的に取り扱うのではなく、地域的特色を的確に把握できるような事象を中核とする学習テーマとして設定し、その他の地域事象と有機的に関連付けながら学習内容を構成することによって地域的特色を学ぶところに特色がある。簡潔に言えば、地域的特色を最もよく表している事象を中心とし、その他の事象との関係性を明らかにする地誌学習である。

4 動態的地誌学習としての「世界の諸地域」

動態的地誌学習としての地理学習が最も典型的に示されているのは、7つの中核テーマが示された「(2) 日本の様々な地域」である。

それでは、「(1) 世界の様々な地域」はどうか。「ウ 世界の諸地域」について、先の吉開が「…州ごとに異なる主題を設けて地域をみる視点を絞り、具体的な学習問題から地域的特色を理解させる地誌的な学習」（『地理的分野の各中項目の解説(2)』『中等教育資料』NO.872, 2009）と説明しているように、「まず州ごとに様々な面から地域

的特色を大観させ、その上で主題を設けて地域的特色を理解させる」（『内容の取り扱い』）ことを求めている。この記述からは、「地域の大観→主題の設定→主題を中心とした地域的特色の解明」という学習過程が想定されていることがわかる。「世界の諸地域」は主題学習の形態をとりながら、その具体的な展開は動態的地誌学習が想定されているのである。

したがって、「世界の諸地域」の学習は、従来のように、自然環境→歴史的発展→人口→産業→…というふうに、当該州の事象を項目的に羅列して学習すること（静態的地誌学習）は許されない。まず、州を大観した後に、その州の地域的特色を最もよく体现している主題を設定し、その主題に基づいて具体的な地域や国の地理的事象を取り上げて学習することになる。

『学習指導要領解説』には州ごとに主題例が示されている。例えば、ヨーロッパでは「EUの発展と地域間格差」が示されている。そこでは、ヨーロッパを大観した後に「“EU加盟国では、政治・経済的統合が人々の生活にどのような影響を与えているか”という問いを立て」るところから学習が始まることに着目する必要がある。すなわち、新学習指導要領における動態的地誌学習では、冒頭に示したような学力観に基づき、生徒たちの主体的な学習参加がなければ成立しない。この点から、「世界の諸地域」学習では、生徒たちが身を乗り出して学習に取り組むような主題とそれを具体化した魅力的な教材の準備が不可欠である。そうすると、今まで以上に、教師の深い地域理解と高い授業構成能力が問われてくるだろう。

本小冊子では、ささやかではあるが、そうした新学習指導要領の目ざす動態的地誌学習を具体化するための授業づくりの指針を示した。移行期における先生方の授業づくりに少しでもお役立ただけであれば幸いである。

世界の諸地域の「主題」の設定について

北アメリカ州 主題: 巨大な産業と経済

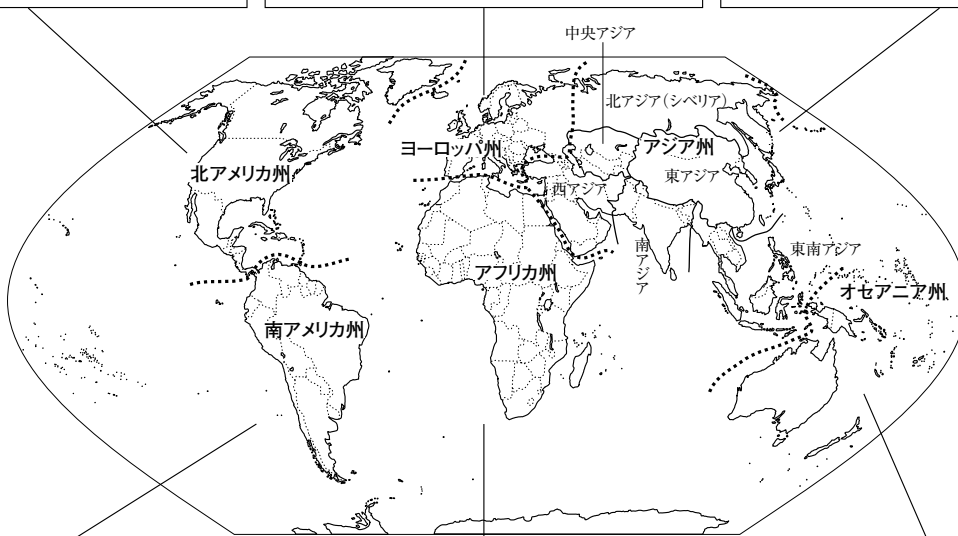
先住民と多くの移民によって形成された多民族・多文化社会である。合理化された産業や経済、文化が普遍的に世界に対して大きな影響力を持っていることを取り上げたい。学習テーマとしては、北極から熱帯まで広がる自然環境、アメリカ合衆国の開拓の歴史と先住民、大規模で適地適作の合理化された農業、「世界の食料庫」としての農産物輸出、巨大な工業生産と最先端の科学技術、アメリカ経済の影響力、グローバル化する文化などが挙げられる。

ヨーロッパ州 主題: 国々の結びつき

近代化の歴史と国家の規模などを日本と比較させながら取り上げたい。多くの国家に分かれている一方で文化の共通性があること、それがヨーロッパ連合につながっていることをとらえさせたい。学習テーマとしては、比較的高緯度にある州の位置、いち早く達成された近代化と先進国化、民族と文化の共通性、ヨーロッパ連合の成り立ちとその機能、環境対策などの合意形成、ソ連邦の崩壊と新たな社会の形成などが挙げられる。

アジア州 主題: 多様な地域のすがた

対象地域が広大であるため、小区分地域や特定の国家を事例としながら具体的に上げたい。アジア州全体の共通性や傾向（人口増加や経済発展など）を、抽象的な認識に陥らせないためである。学習テーマとしては、シベリアから赤道まで広がる自然環境、モンスーンと稲作、人口集中地域、巨大な人口と多様な民族からなる中国やインド、経済発展とその問題、大都市の成長、プランテーション農業とその変化、偏在する石油資源、宗教の多様性などが挙げられる。



南アメリカ州 主題: 開発と環境

北アメリカと同様に、移民や奴隷貿易によって複雑な住民構成の社会である。ラテン系の文化が共通して見られることや、不安定な経済・政治の情勢などにも関心を向けさせたい。学習テーマとしては、多様な人種・民族、アマゾン川流域の熱帯林、その開発と環境破壊、プランテーションによるモノカルチャー経済、日系移民の歴史、都市化の進展と都市問題などが挙げられる。

アフリカ州 主題: 人々の暮らしの変化

アフリカ州全体的に共通して見られる特色を中心に上げたい。近代化やグローバル経済による負の側面が強調されがちではあるが、さまざまな豊かさにも関心を向けさせたい。学習テーマとしては、赤道を軸とした南北で対称的にひろがる気候、特にサハラ以南に顕著な黒人を中心とした社会集団、奴隷貿易や植民地支配に代表される搾取と独立の歴史、グローバル化の負の面を強いられる経済構造、現代における都市化とその問題などが挙げられる。

オセアニア州 主題: 他地域との結びつき

「楽園」としてイメージされがちな海洋の暮らしを具体的に上げたい。植民地の歴史と先住民、多文化の共存をめざす取り組みなどにも関心を向けさせたい。学習テーマとしては、海洋と島々からなる自然環境、島々の自給的な暮らしと外国への依存、オーストラリアやニュージーランドの歴史と先住民、白豪主義から多文化主義への変化、ヨーロッパからアジアへの貿易シフト、観光産業などが挙げられる。

1 地域区分について

『学習指導要領解説』では、「基礎的・基本的な知識を定着させるという観点、また汎用性が高いという観点から、次の形式地域による地域区分を採用すること」とし、大州区分（アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニア）を指定している。一般に、地域区分それ自体は便宜的なものにすぎない。しかし、子どもたちが初めて世界地理を学ぶ単位であることを踏まえると、地域区分も知識として定着させる必要があるだろう。地域区分の方法は、その目的や解釈が分かるため絶対的なものではない。本ワークシートでも、新学習指導要領にしたがい、自然環境による大州区分を採用した。

2 各州の「主題」について

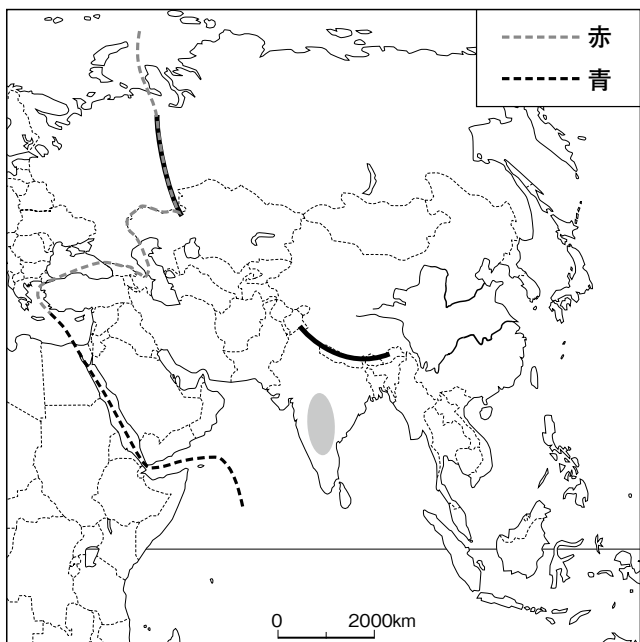
追究する「主題」の設定については、『学習指導要領解説』に各州の主題例が紹介されている。詳しくは、本ワークシート各州の冒頭「学習指導要領解説の抜粋」を参照されたい。これらを踏まえ、また、これまでの地理学習の実践を踏まえ、本ワークシートでは上の図の通り主題を設定した。各ワークシートには、子どもたちの既得知識と学習の便宜に配慮して文章記述を配置したが、紙面の制約もあり、地域の理解には十分なものではない。実際の指導では、地図帳をはじめ、その他さまざまな統計類や資料集、百科事典、新聞記事、インターネットなどを積極的に参照させたい。その前提として、指導する側の教師自身が世界に対する関心を高め、歴史的分野・公民的分野との関連を図りつつ、各地の情勢や現代世界に対する認識を深めておく必要があることはいうまでもない。

学習ワークシートの解答例

1 アジア州

① アジア州のあらまし p.6

課題 1



課題 2 ① 朝鮮 ② 黄河 ③ 長江

④ ヒマラヤ ⑤ デカン ⑥ カスピ

⑦ ペルシア ⑧ アラビア

課題 3 a ウラル b 黒 c 紅

課題 4 東アジア： a, e, g

東南アジア： c, d, k, m

南アジア： f, j

西アジア： b, i, l

中央アジア： h

課題 5 (例) 中国・韓国…稲作や仏教, 漢字などさまざまな文化が伝えられた。

サウジアラビア…日本にとって重要な石油供給国である。

モンゴル…国技の大相撲の横綱の出身国として有名になった。

② アジア州の自然環境 p.7

課題 1 四季の区別がある (温帯)： b, c

一年じゅう気温が高い (熱帯)： d, f

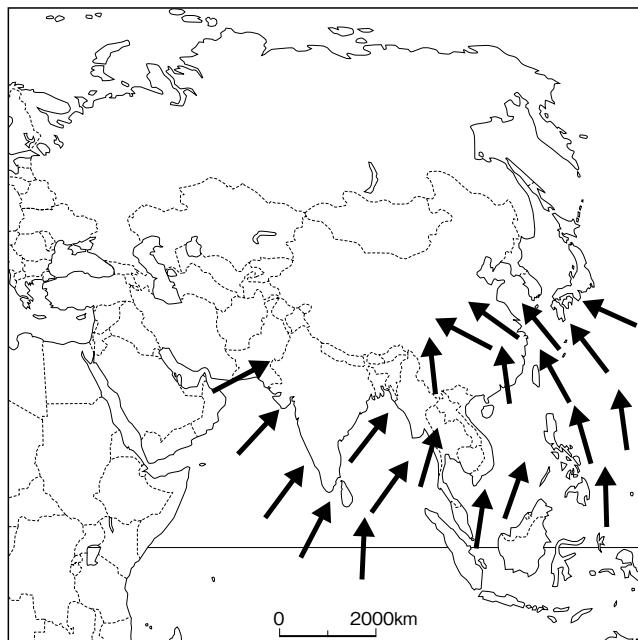
砂漠や草原が広がる (乾燥帯)： a, e

課題 2 (例) 全体的には、インド付近を境にして東側に雨が多く、西側に雨が少ない。特に東南アジアから南アジアにかけて降水量が多く、西アジアや中央アジアは極端に少ない。

課題 3



課題 4 モンスーン (季節風)

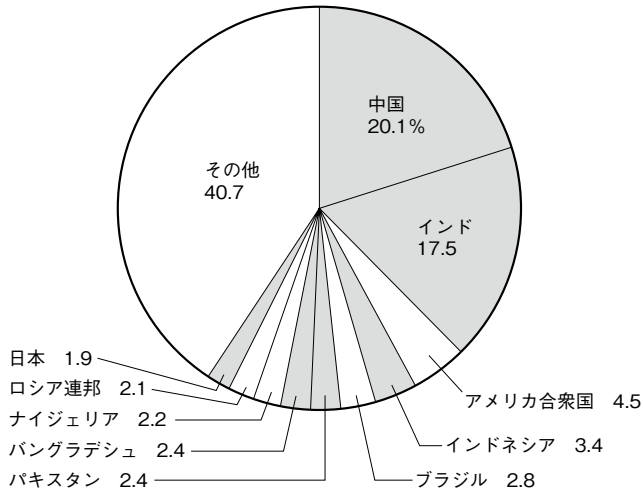


課題 5 (例) 牧草や水を求め、家畜を連れて移動する遊牧や、オアシスでなつめやしや小麦栽培を行なう。

③ アジア州の人口分布と変化 p.8

課題 1 下グラフ参照

課題 2 下グラフ参照



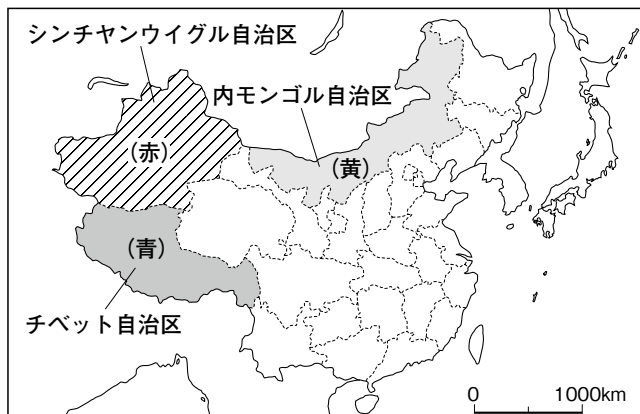
課題 3 4

課題 4 (例) 一人っ子政策を行い、一組の夫婦が産み育てる子どもの数を一人に限定した。

課題 5 (例) ・一人っ子のため、過保護に育てられる。
・若い年齢層の人口にしめる割合が下がり、高齢化の進行が早まった。 など

④ アジア州の多様な民族 p.9

課題 1



課題 2 シンチヤンウイグル自治区: タクラマカン

チベット自治区: チベット

内モンゴル自治区: ゴビ

課題 3 ① b ② c ③ a ④ d

⑤ d ⑥ b ⑦ d ⑧ d

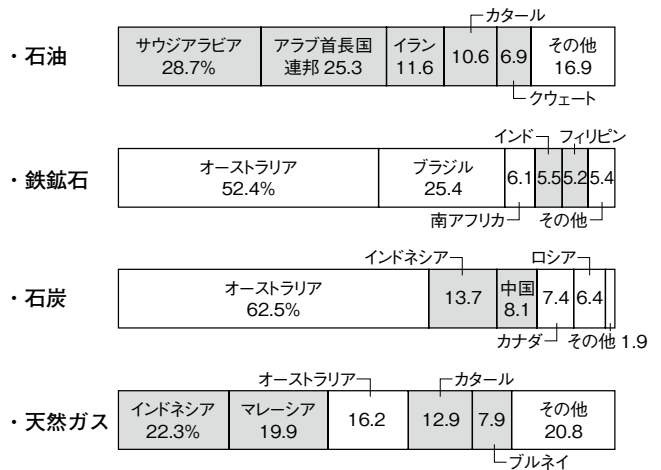
課題 4 ① インドネシア ② シンガポール

課題 5 (例) パレスチナの帰属問題 (パレスチナの

土地がイスラム教徒のパレスチナ人のものであるか、ユダヤ教徒のユダヤ人のものであるか、という問題)のこと。衝突や戦争がたびたび起き、多数の犠牲者や難民を生んでいる。

⑤ アジア州の資源・エネルギー p.10

課題 1



課題 2 d

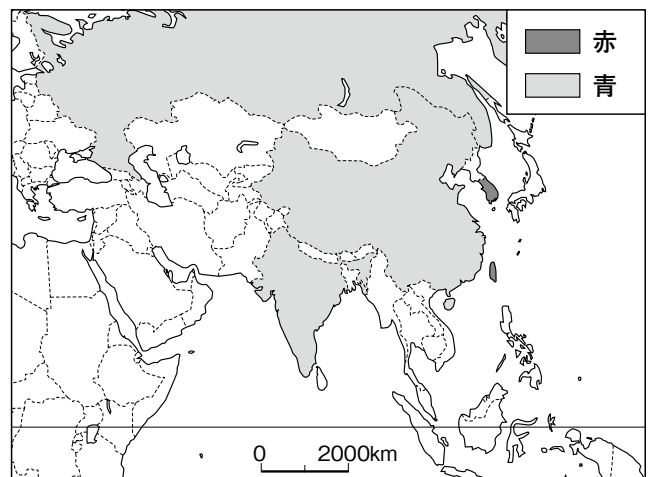
課題 3 イスラム教

課題 4 (例) 工業が発展している先進国や、近年工業化が進み経済発展が著しい国。

課題 5 (例) 道路の建設や、国民に対する福祉に使ったほか、海水を淡水化する施設の建設にも使った。また、リゾート施設や高層ビルの建設にも使い、ビジネスと観光に力を入れるようになった。

⑥ アジア州の経済発展 p.11

課題 1



課題 2 ① 原材料 ② 労働力 ③ 輸出

課題 3 (例) 石炭を大量に燃やすことで大気汚染が

発生したり、工場や家庭からの排水による水質汚染の被害が出ている。

課題 4 (例) 酸性雨

課題 5 (例) 外国企業が、発展途上国に工業団地やオフィスビルをつくる場合、首都やその周辺に集中する傾向がある。すると、これらの地域では働き手が不足するため、賃金が上昇しやすい。その結果、これらの地域で働く人の方が、農村で働く人よりも収入が多くなる。

課題 6 (例) 日本国内で人を雇う賃金に比べて、発展途上国で人を雇う賃金は安くてすむため、生産費や商品価格を安く抑えることができる。

⑦ アジア州のまとめ……………p.12

- 課題 1 ① 大韓民国 (韓国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 38 ② 長江 ③ 外国
④ 一人っ子 ⑤ 自治 ⑥ 東南アジア諸国連合 (ASEAN), 中国 ⑦ 三角州 ⑧ 中国
⑨ 油田 ⑩ イスラム, キリスト

2 アフリカ州

① アフリカ州のあらまし……………p.14

課題 1 北北西から西南西

課題 2 ① ナイジェリア ② エチオピア

- ③ エジプト ④ コンゴ民主共和国 ⑤ 南アフリカ共和国 ⑥ タンザニア ⑦ スーダン ⑧ ケニア ⑨ アルジェリア ⑩ ウガンダ

課題 3 ① C ② A ③ C ④ B
⑤ B ⑥ A ⑦ A ⑧ B

② アフリカ州の自然環境と歴史……………p.15

課題 1 左下図参照

- 課題 2 ① サハラ ② ナイル ③ エチオピア
④ ニジェール ⑤ ギニア ⑥ コンゴ
⑦ ナミブ ⑧ キリマンジャロ ⑨ ザンベジ
⑩ マダガスカル

課題 3 a: 熱帯雨林気候 b: 地中海性気候
c: 砂漠気候 d: サバナ気候 e: 温暖
冬季少雨気候

課題 4 右下図参照

課題 5 (例) この年に多くのアフリカ諸国が独立したから。

課題 6 (例) ソマリア, スーダン, ダルフール地方, 西サハラ など

③ アフリカ州の伝統的な暮らしの変化……………p.16

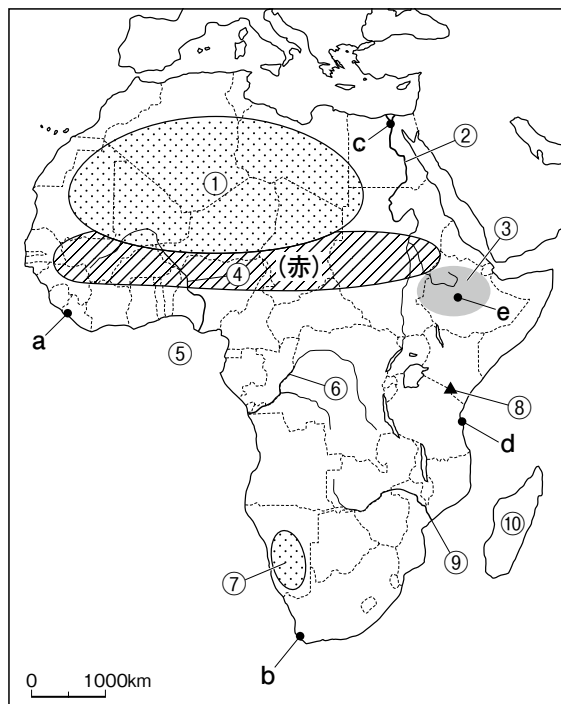
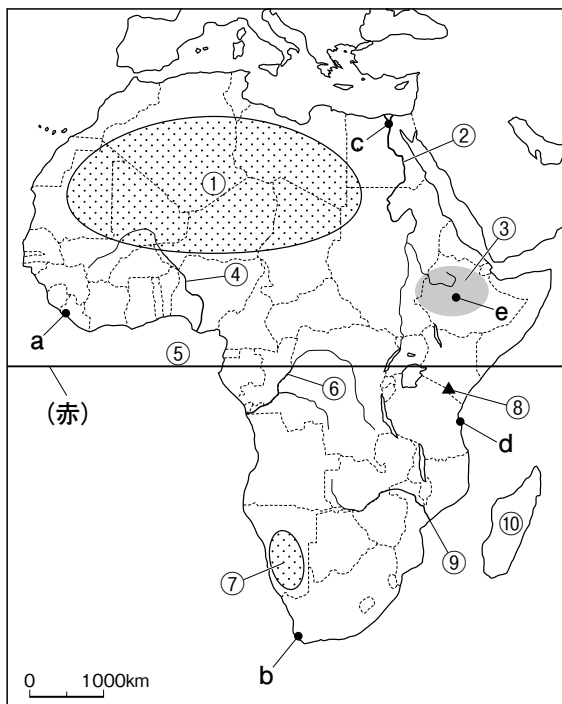
課題 1 稲: × もろこし: ○ 小麦: ○
なつめやし: ○

課題 2 ニジェール川

課題 3 ① × ② ○ ③ ○ ④ ×

課題 4 ① ○ ② × ③ ○

課題 5 (例) 収穫された後、発酵・乾燥させられた



カカオ豆の状態では日本に輸出されている。その後の機械を用いた加工は主に日本国内で行われている。

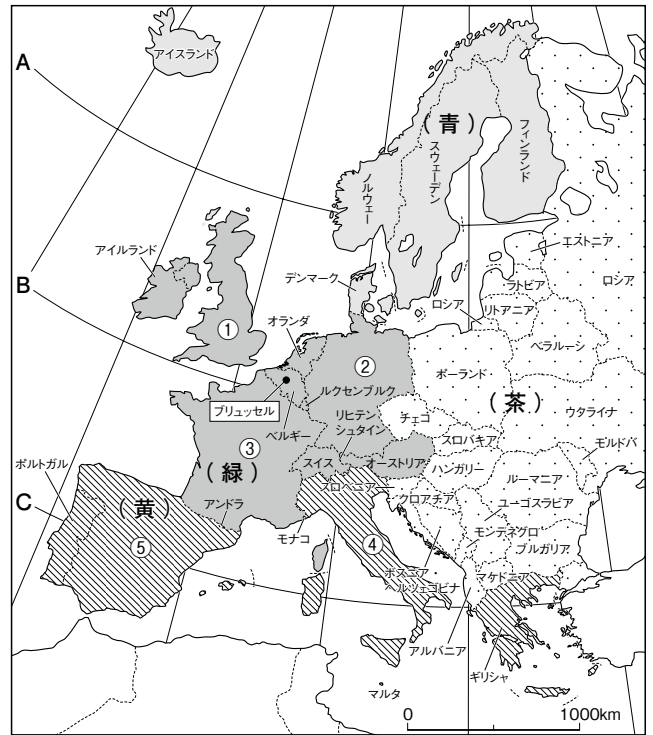
④ アフリカ州のまとめ p.17

課題 1 a アジア b アフリカ c 24.4

課題 2 ① 小さい ② 小さい国 ③ (例) 石油 ④ (例) コーヒー豆

課題 3 (例) 2005年のガーナの主な輸出品は、金とカカオ豆である。これら2品目で輸出金額の6割以上をしめており、典型的なモノカルチャー経済国といえる。主な輸入品は自動車、石油、一般機械である。輸出額は約37億ドル、輸入額は約55億ドルで、輸入が輸出を約18億ドル上回っており、赤字となっている。主な輸出相手国は南アフリカで、主な輸入相手国はナイジェリアである。一人当たりの国民総所得は、520ドル(2006年)であるが、これは先進国よりずっと低い値で、日本のおよそ74分の1しかない。多くの人々は大変質素な生活をしていることがうかがえる。主要産業であるカカオ豆の栽培も、家族経営の小規模な農家が行っている。

課題 3



課題 4

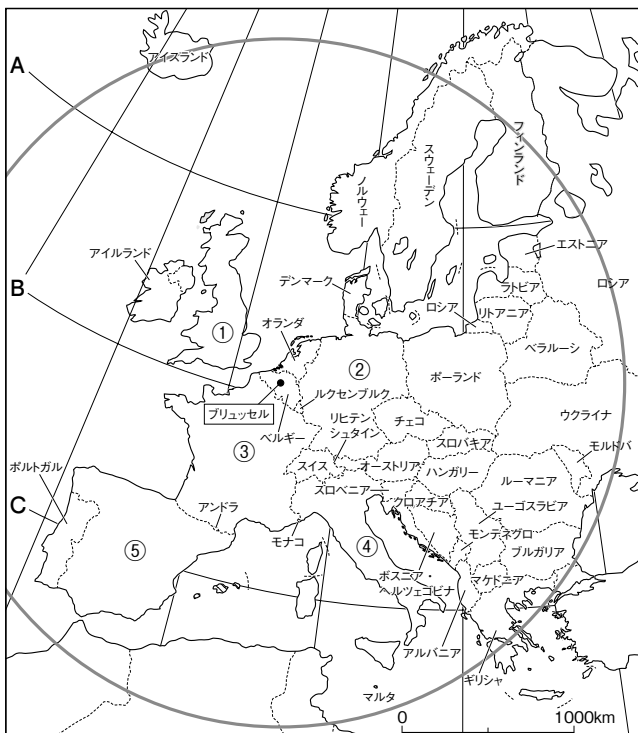


3 ヨーロッパ州

① ヨーロッパ州のあらまし p.19

- 課題 1 ① イギリス, ロンドン
 ② ドイツ, ベルリン ③ フランス, パリ
 ④ イタリア, ローマ ⑤ スペイン, マドリード

課題 2



課題 5 青森

課題 6 (例) イギリスの西の大西洋北部に、暖流の北大西洋海流が流れ、その上をほぼ一年じゅう偏西風がヨーロッパに向けて吹いており、暖かい空気が流れ込むから。

② ヨーロッパ州の民族と文化p.20

- 課題 1 ① プロテスタント ② カトリック
 ③ 正教会 ④ ゲルマン ⑤ ラテン
 ⑥スラブ

課題 2 アジア： (例) トルコ

アフリカ： (例) アルジェリア, モロッコ

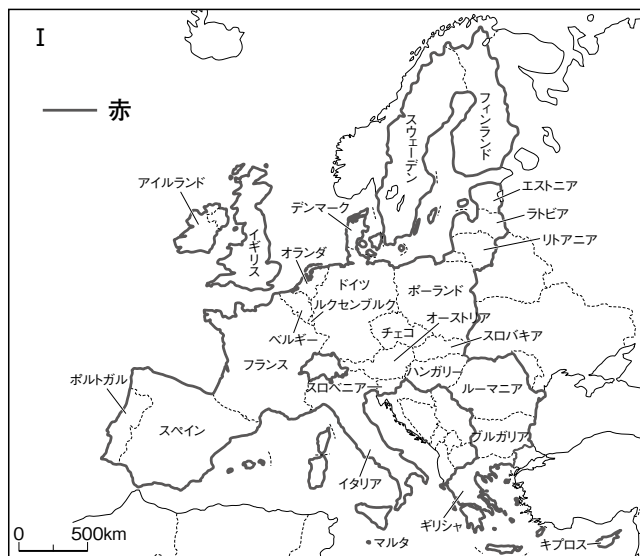
課題 3 カトリック： 南アメリカ州

プロテスタント： 北アメリカ州, オセアニア州

課題 4 (例) 15世紀末以来, これらの州が, ヨーロッパの国々の植民地になったり, ヨーロッパから移民が多く移り住んだから。

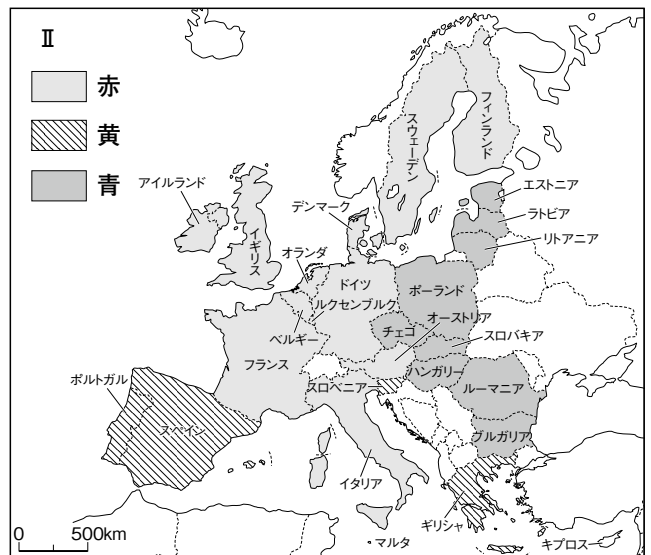
③ ヨーロッパ州の地域統合p.21

課題 1



- 課題 3 ① アイルランド, イギリス, イタリア, オランダ, ギリシャ, スペイン, デンマーク, ドイツ, フランス, ベルギー, ポルトガル, ルクセンブルク
 ② エストニア, キプロス, スロバキア, スロベニア, チェコ, ハンガリー, ブルガリア, ポーランド, マルタ, ラトビア, リトアニア, ルーマニア

課題 4



【凡例】
 一人当たりの国民総所得 { 30,000ドル以上は赤色
 15,000ドル以上 30,000ドル未満は黄色
 15,000ドル未満は青色

④ ヨーロッパ州の産業p.22

- 課題 1 <表中作業>, A 混合農業 B 酪農
 C 地中海式農業

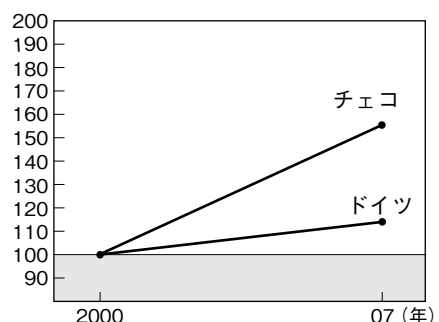
課題 2 酪農, 園芸農業

課題 3

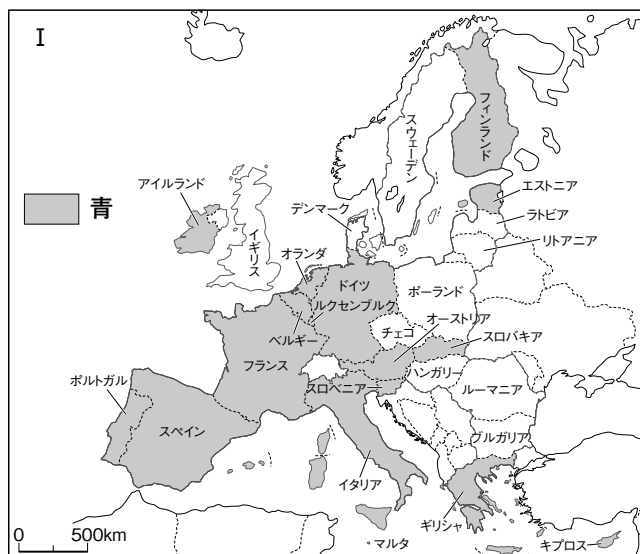
■一人当たりの工業付加価値額

| | 一人当たりの工業付加価値額 | 1,000 | 2,000 | 3,000 | 4,000 | 5,000 | 6,000 | 指数 (2000年=100) |
|-------|---------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| ドイツ | 5,430 | 例 (赤で着色) | | | | | | 114 |
| イギリス | 3,864 | | | | | | | 103 |
| フランス | 3,244 | | | | | | | 105 |
| チェコ | 2,101 | | | | | | | 155 |
| ハンガリー | 1,432 | | | | | | | 149 |
| ポーランド | 1,107 | | | | | | | 149 |

■2000年を100とした指数

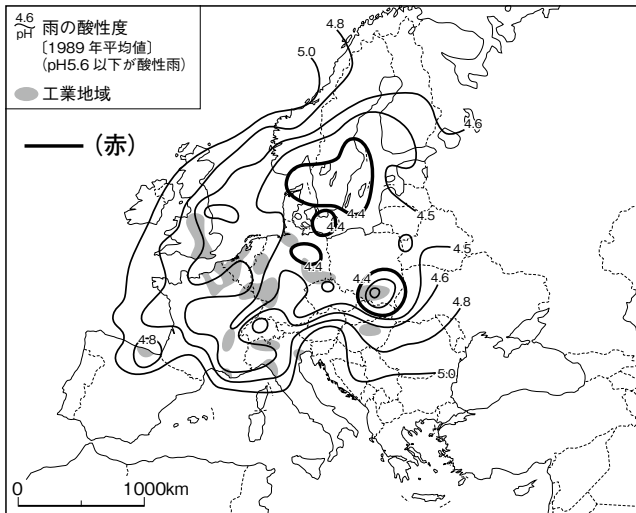


課題 2

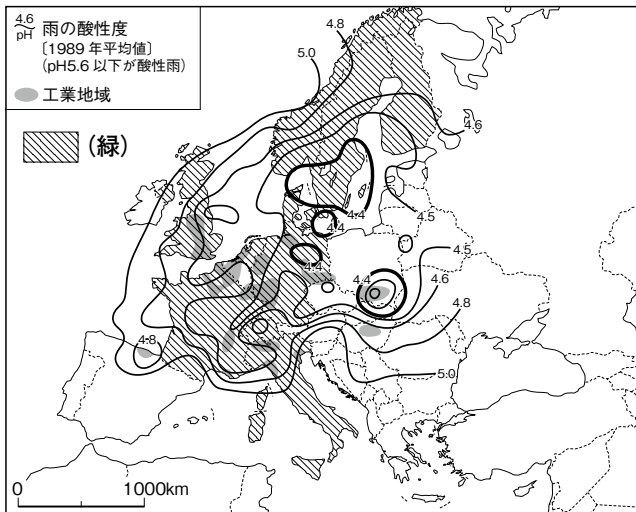


⑤ ヨーロッパ州の環境問題と対策……………p.23

課題 1



課題 2



課題 3 (例) 工業地域の東の方で酸性が強い傾向がある。工業地域から排出された硫黄酸化物などは、偏西風によって東に流されているためだと考えられる。

課題 4 (例) 自動車の排気ガスの減量, 交通渋滞の緩和 など

課題 5 (例) オランダはCO₂の排出量を減らすために、自動車の代わりに自転車を利用することを奨励している。また、ゴミを多くの種類に分類したり、家電製品の回収や廃棄物のリサイクルも強く進めている。さらに、政府と農家が契約を結んで、農地を保護することも行っている。

⑥ ヨーロッパ州のまとめ……………p.24

- 課題 1 A フィヨルド B 偏西 C ライン
 D アルプス E ピレネー F 地中
 a 北海 b ルール
 ア ロッテルダム イ ブリュッセル
 ウ リヨン エ ジェノバ

- 北ヨーロッパ ゲルマン, プロテスタント
 西ヨーロッパ ゲルマン・ラテン, プロテスタント・カトリック
 東ヨーロッパ スラブ, カトリック・正教会
 南ヨーロッパ ラテン, カトリック

課題 2 (例) ヨーロッパ州で特徴的なのは、「国々の結びつき」である。それは欧州連合 (EU) という形となり、共通農業政策によって食料自給率を高めたり、共通通貨ユーロを導入したりして、地域全体の活性化を目指している。(99字)

4 北アメリカ州

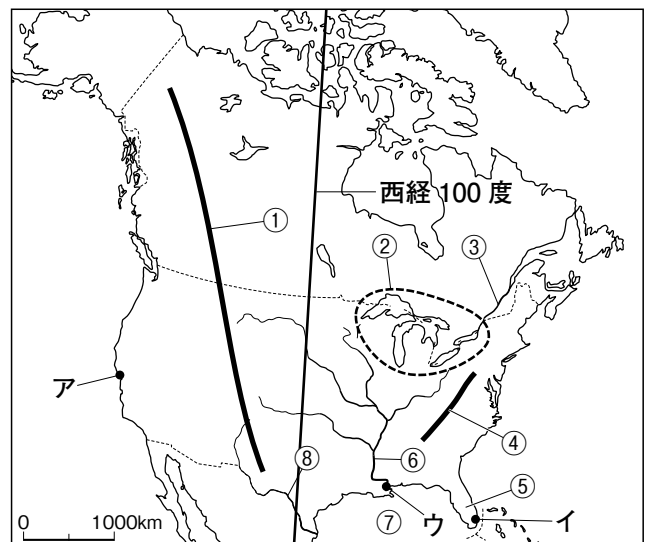
① 北アメリカ州のあらまし……………p.26

- 課題 1 ① ロッキー ② 五大 ③ セントローレンス
 ④ アパラチア ⑤ フロリダ
 ⑥ ミシシッピ ⑦ メキシコ ⑧ リオグランデ

- 課題 2 a ロッキー山脈 b ミシシッピ川
 c アパラチア山脈

課題 3 (例) 北アメリカ大陸の西側は環太平洋造山帯になっているから。

課題 4

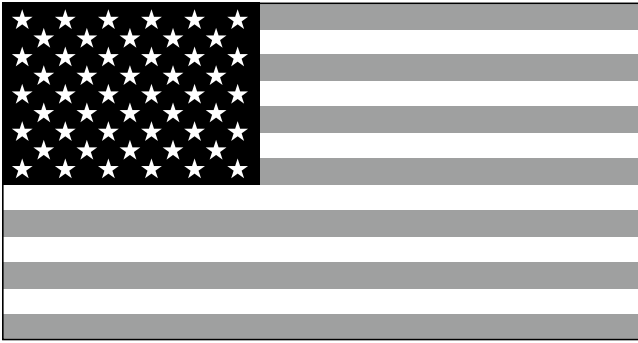


(例) 西経100度より西側の都市は乾燥した気候, 東側の都市は湿潤な気候になっている。

② 北アメリカ州の歴史と人々……………p.27

- 課題 1 ① コロンブス ② イギリス
 ③ 開拓 ④ ヒスパニック

課題 2



(例) 13本の横じまは独立当時の東部13州を、50個の星は現在の州の数を表している。

課題 3 記号: c

理由: (例) かつて黒人が働かされた綿花の栽培がさかんな州であるため。

課題 4 (例) 民衆が集まって政治を行う「民主主義」の政治が、建国当時から行われていたことを示しているから。

③ 北アメリカ州の農業生産p.28

課題 1 ア 小麦 イ とうもろこし ウ だいず エ 綿花

課題 2 (例) 年降水量500mm以下の乾燥地域で、標高が500mより高い地域。

課題 3 記号: b

理由: (例) だいはとうもろこしと同様、家畜の飼料とされるから。

課題 4 (例) バイオ燃料の価格は石油価格に大きく関係しているので、その原料となる作物の価格、さらにそれらを原料とする食料の価格もそれに伴って変動する。

④ 北アメリカ州の工業と技術p.29

課題 1 ① ロサンゼルス, ウ

② サンフランシスコ, イ

③ デトロイト, オ

課題 2 ① ピッツバーグ, カ

② ヒューストン, エ

③ シアトル, ア

課題 3 (例) 五大湖周辺に分布している。石炭や鉄鉱石など資源の産地に近いから。

課題 4 (例) メキシコ湾周辺に分布している。油田が多く分布しているから。

⑤ 北アメリカ州の経済と文化p.30

課題 1 ① b

課題 2 (例) 進出した地域の食文化や宗教に合わせて、さまざまな味や素材のハンバーガーをつくっている。

課題 3 (例) 地域の伝統的な食文化が失われていく可能性がある。

⑥ 北アメリカ州のまとめp.31

課題 1 ① a ロッキー b ミシシッピ

c 五大 d アパラチア

② ア サンフランシスコ イ ロサンゼルス

ウ デトロイト エ ニューヨーク

③ ア

課題 2 ① 黒人 ② ヒスパニック ③ 適地

適作 ④ サンベルト ⑤ シリコンバレー

⑥ 多国籍企業

課題 3 見出し: (例) アメリカ合衆国と車社会

要約: (例) アメリカ合衆国に住む人々にとって、自動車は生活に不可欠なものだったが、CO₂削減が世界的な課題となる中で、その生活様式自体が見直され始めている。

5 南アメリカ州

① 南アメリカ州のあらましp.33

課題 1 ① クリオーリョ ② メスチーソ

③ ムラート ④ インディオ

課題 2 ① ブラジル ② コスタリカ

③ ボリビア ④ ハイチ

⑤ アルゼンチン ⑥ ベネズエラ

課題 3 (例) プランテーションの労働力として、アフリカから連れてこられたから。

② 南アメリカ州の農業と開発p.34

課題 1 ① ボリビア, チリ, キューバ, ブラジル, コロンビア

② (例) 鉱産資源や熱帯性の農産物が多い。

③ (例) 中国やインドが急速に経済発展し、これらの国向けの輸出が増えているから。

課題 2 (例) 工業化を進めるために多額の借金をしたが、工業製品の国際競争力が低いままであるために利益が出ず、借金が返済できずにいるため。

③ 南アメリカ州の環境問題p.35

課題 1 ① コスタリカ, チリ

② ブラジル, 1551

③ ホンジュラス

課題 2 (例) 環境になるべく負担をかけないような開発技術を先進国が提供する。

④ 南アメリカ州のまとめp.36

課題 1 ① メキシコ ② キューバ ③ パナマ

④ コロンビア ⑤ ベネズエラ ⑥ ペルー

⑦ ボリビア ⑧ ブラジル ⑨ チリ

⑩ アルゼンチン ア ブラジリア

イ リオデジャネイロ ウ リマ

エ ブエノスアイレス

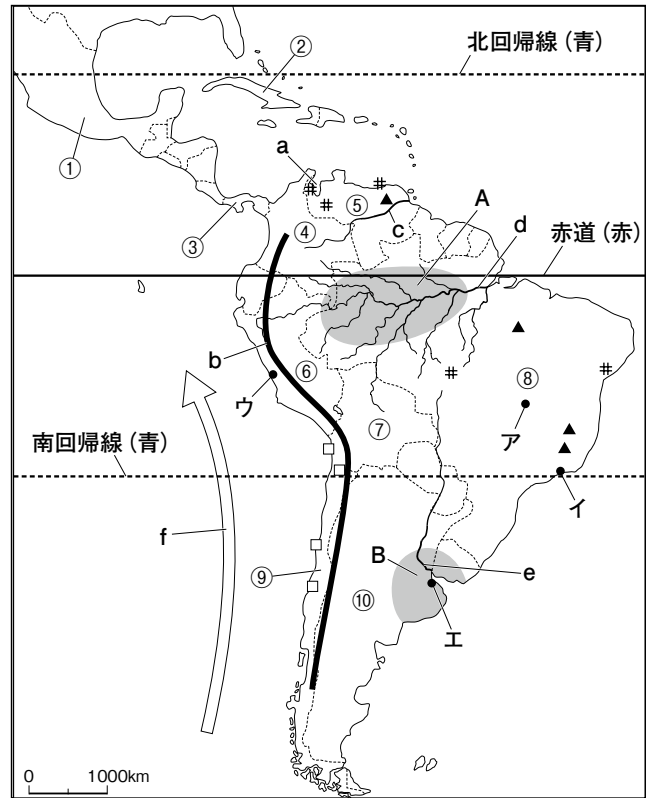
a マラカイボ b アンデス c オリノコ

d アマゾン e ラプラタ f ペルー (フンボルト)

A セルバ B パンパ

課題 2 # : 石油 ▲ : 鉄鉱石 □ : 銅

課題 3



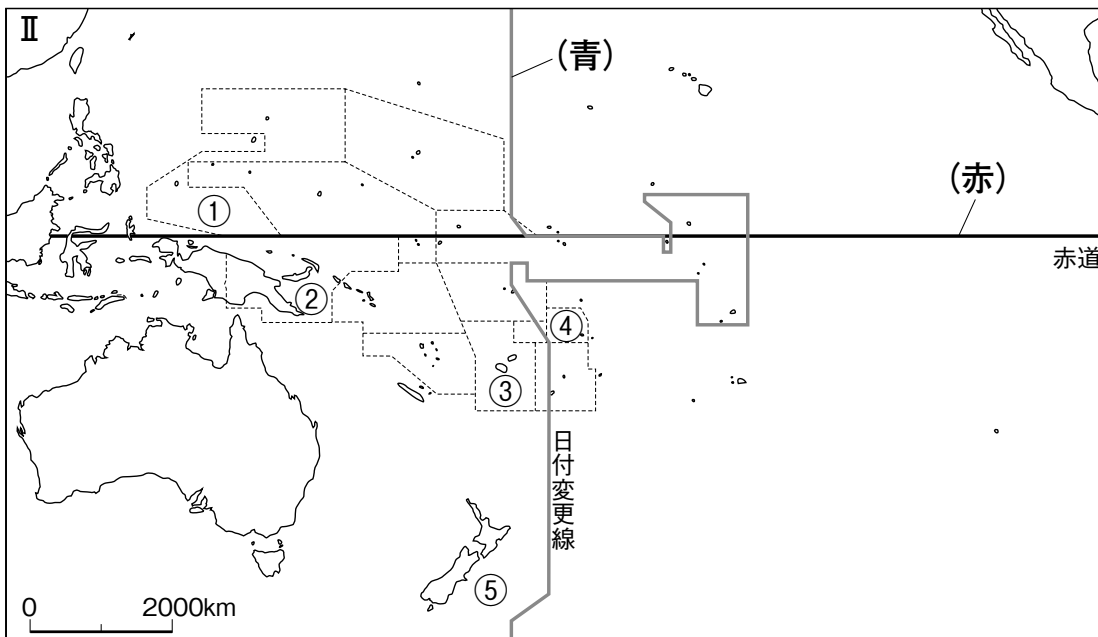
6 オセアニア州

① オセアニア州のあらましp.38

課題 1 A ミクロネシア B ポリネシア

C メラネシア D オーストラリア

課題 2



課題 3 ① パラオ ② パプアニューギニア

③ フィジー諸島 ④ サモア

⑤ ニューージーランド

課題 4 (例) ニューカレドニア島, サイパン島 など

② オセアニア州と他地域の結びつき……………p.39

課題 1 a グレートディバイディング

b グレートアーテジアン

c グレートビクトリア

課題 2 (例) 1961～65年では、イギリスを中心にヨーロッパの国々がほとんどだが、1992～96年ではアジアの国々が目立つようになった。

課題 3 (例) 移民を多く受け入れ、産業を活性化させるため。

課題 4 (例) イギリスなどのヨーロッパと比べて地理的に近く、経済成長も見込めるから。

③ オセアニア州とアジアの結びつき……………p.40

課題 1 A 鉄鉱石 B 石炭

課題 2 (例) 輸出は工業製品が多く、輸入は鉱産資源や食料が多い。

課題 3 (例) イギリス、アメリカ合衆国などの欧米の割合が減り、日本や中国などのアジアの割合が増えている。

④ オセアニア州のまとめ……………p.41

課題 1 a グレートディバイディング山脈

b グレートアーテジアン盆地

c グレートビクトリア砂漠

d グレートサンディー砂漠

ア 鉄鉱石

イ 石炭

課題 2 ミクロネシア、ポリネシア、メラネシア、オーストラリア大陸

課題 3 アボリジニ、イギリス、白豪主義、多文化、日本

課題 4 (例) さんご礁や火山島などの島々である。おもに観光が主産業になっている。 など